

あなたの知識に新たな風をふきこむ

ひょうご講座

二〇一一年九月

夏が終わり

ひょうご講座の秋が始まる

2011年度 募集要項

お問い合わせ (公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構 TEL. 078・262・5714 FAX.078・262・5122

webで確認

ひょうご講座

検索

<http://www.hyogo-al.gr.jp/kouza/>

ひょうご講座 2011 とは

目 的

- ・ 県民の皆様に、専門的な大学教養レベルの生涯学習を提供するために、兵庫県内の大学や研究機関等と連携して、兵庫ゆかりの講師陣等による独自の講座を開講します。

科 目 数

- ・ 6 科目
- ・ 各科目とも、週 1 回、同一曜日に 10 回連続の講義

開 催 時 期

- ・ 平成 23 年 9 月上旬～ 11 月下旬

時 間

- ・ 月、火、水、金 18:30～20:00 (90 分間)

場 所

- ・ 兵庫県民会館 (神戸市中央区下山手通 4-16-3)
- ・ 地下鉄「県庁前」駅下車すぐ

定 員

- ・ 約 40 名 (各科目)
- ※先着順に受付、定員になり次第、締め切ります。

受 講 料

- ・ 15,000 円

多彩なジャンルから 6 科目を提供します！

環 境(月曜コース) ^{としま}“都市山”六甲、最新自然情報

心 理(月曜コース) 描画や夢を通して知る、私の知らない私、私の無意識の世界

国際経済(火曜コース) TPP・貿易の自由化と世界各国の経済

国際理解(火曜コース) 中国近代化の基本問題

農 業(水曜コース) 日本農業の再構築を考える

芸 術(金曜コース) 美を語る

としま “都市山”六甲、最新自然情報

知っているようで知らない「六甲山」の本当の姿を探る

月曜コース	テーマ	担当教員
1	9/5 <small>としま</small> 都市山六甲の特色は何か	服部 保 兵庫県立大学自然・環境科学研究所 教授
2	9/12 生物交流・共生の場、六甲	服部 保 兵庫県立大学自然・環境科学研究所 教授
3	9/26 六甲・虫物語(六甲の昆虫相の特色)	八木 剛 兵庫県立人と自然の博物館主任研究員
4	10/3 植物が動く・氷河時代からの六甲の植生変遷	松下まり子 日本植生史学会評議員、人と森の研究室 代表
5	10/17 はげ山六甲、植生復元のその後	武田義明 神戸大学発達科学部 教授
6	10/24 六甲に残る130本のブナの謎	栃本大介 ひょうご環境創造協会 主任
7	10/31 名所図会にみる六甲の姿	田原直樹 兵庫県立大学自然・環境科学研究所長 教授
8	11/7 六甲にススキ草原を復元できるか (絶滅の危機にある六甲の草原)	橋本佳延 兵庫県立人と自然の博物館研究員
9	11/14 六甲があぶない(温暖化、外来種の侵入)	栃本大介 ひょうご環境創造協会 主任 服部 保 兵庫県立大学自然・環境科学研究所 教授
10	11/21 これからの六甲の自然と生物多様性六甲戦略	服部 保 兵庫県立大学自然・環境科学研究所 教授

内容紹介 コーディネーター 服部 保 兵庫県立大学自然・環境科学研究所 教授

六甲の自然については非常にたくさんの書物が出版されていますが、他の山地と比較して六甲の何がすばらしいのか、六甲固有の自然は何かといったことにはほとんどふれられていません。本講座では六甲と他地域の自然を比較し、他の山地にはない六甲固有の特性(例えば日本一の都市山であること、日本一の生物交流・共生の場であることなど)を明らかにします。また、昆虫相、原生林からの植生変遷、ブナ孤立林、ススキ草原の復元、名所図会による植生診断、外来種、温暖化といった六甲における最新の問題を取り上げます。最後に今後の六甲の将来像や生物多様性保全のあり方をまとめます。

描画や夢を通して知る、私の知らない私、私の無意識の世界 自分の無意識と向き合い、新たな自分探しの旅へ

月曜コース	テーマ	担当教員
1	9/5 意識と無意識を探る—まずは投影法から	伊藤俊樹 神戸大学大学院人間発達環境学研究科 准教授
2	9/12 夢が語る心の秘密—印象深い夢を互いに語り合おう	伊藤俊樹 神戸大学大学院人間発達環境学研究科 准教授
3	9/26 星と波テスト、フルテック描画テスト —描画をとおして渡す無意識との架け橋	松田真理子 京都文教大学臨床心理学部 准教授
4	10/3 九分割統合絵画法 —マンダラに宿る無意識を味わう試み	松田真理子 京都文教大学臨床心理学部 准教授
5	10/17 PFスタディ—吹き出しのうめ方に無意識を探る	青柳寛之 甲子園大学心理学部現代応用心理学科 准教授
6	10/24 PFスタディ—分析と解釈の方法	青柳寛之 甲子園大学心理学部現代応用心理学科 准教授
7	10/31 スクイグルゲーム—「描くこと」と「遊ぶこと」	石川敬子 神戸同人社 元京都光華女子大学 准教授
8	11/7 TATテスト—統覚の不思議；意味を見いだす心の働き	石谷真一 神戸女学院大学人間科学部心理・行動科学科 教授
9	11/14 TATテスト—人生を物語る；どんな物語を生きていますか？	石谷真一 神戸女学院大学人間科学部心理・行動科学科 教授
10	11/28 全10回を通して、感じたことを振り返る	伊藤俊樹 神戸大学大学院人間発達環境学研究科 准教授

内容紹介 コーディネーター 伊藤 俊樹 神戸大学大学院人間発達環境学研究科 准教授

人の心は意識できる部分と、なかなか意識することができない無意識から成り立っています。我々臨床心理学(心に悩みや問題を抱えた人・子供を対象にして、その人達がどうしたらよりよく生きることができるようになるかを考える心理学)では、心理療法という実践を通して、彼らの心アプローチしていきます。その際、本人が気づいていない無意識の有り様が、非常に大きな働きをしています。これは、心理的な問題を抱えた人に限ったことではありません。我々のように普通に暮らしている人でも、自分でも知らないうちに無意識に影響されて行動していることがあります。今回は、そのような無意識の働きを、主に投影法と呼ばれる手法を通して、探ってみたいと思います。皆さんの自己理解が少しでも深まれば、幸いです。

TPP・貿易の自由化と世界各国の経済 激動の世界経済の中、貿易自由化の現状と展望を考える

火曜コース	テーマ	担当教員
1	9/6 TPP、貿易の自由化と米国経済	地主敏樹 神戸大学大学院経済学研究科 教授
2	9/13 韓国のFTA政策	高龍秀 甲南大学経済学部 教授
3	9/20 自由貿易協定と東アジア共同体構想	金京拓司 神戸大学大学院経済学研究科 教授
4	9/27 経済改革の展開とNZ経済	石垣健一 神戸学院大学経済学部 教授
5	10/4 TPP、貿易の自由化と中国経済	梶谷懐 神戸大学大学院経済学研究科 准教授
6	10/11 日本のFTA / EPAと農業改革	石黒馨 神戸大学大学院経済学研究科 教授
7	10/18 日・EU経済連携協定とTPP	久保広正 神戸大学大学院経済学研究科 教授
8	10/25 ロシアの貿易自由化	吉井昌彦 神戸大学大学院経済学研究科 教授
9	11/1 TPP、貿易の自由化と日本経済	松林洋一 神戸大学大学院経済学研究科 教授
10	11/8 TPP、貿易の自由化と関西経済	山本周吾 (財)関西社会経済研究所 研究員

内容紹介 コーディネーター 地主敏樹 神戸大学大学院経済学研究科 教授

貿易自由化は世界的なうねりです。TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)は、管政権の参加姿勢が論争を惹起しました。TPPを推進するアメリカやニュージーランドはどのように考えているのでしょうか。隣の韓国と中国は貿易自由化を積極的に進めていますし、アセアンも含めた東アジア全体も動いています。域内貿易自由化で先行したEU、資源大国であるロシアなどの動きも見て、日本経済や関西経済の対応を考えていきたいと考えています。

中国近代化の基本問題

急成長する中国、近代化がもたらしたものの実態を探る

火曜コース	テーマ	担当教員
1	9/6 躍進する中国の光と影	野尻武敏 神戸大学 名誉教授、神戸社会人大学 学長
2	9/13 中国における民主化と民族問題をめぐるジレンマ	劉燕子 作家、現代中国文学者
3	9/20 中国近代化における農村部の実態	巖善平 同志社大学大学院グローバルスタディーズ研究科 教授
4	9/27 中国の近代化と市民社会の台頭	麻生晴一郎 ルポライター
5	10/4 中国の近代化と民族問題	王柯 神戸大学大学院国際文化学研究所 教授
6	10/11 中国近代化の難題：帝国と国民国家の交錯	伊原吉之助 帝塚山大学 名誉教授
7	10/18 中国の近代化と神戸	蔣海波 武庫川女子大学 非常勤講師
8	10/25 中国ビジネスの現状と課題	杉田俊明 甲南大学経営学部 教授
9	11/1 辛亥革命と日本	安井三吉 神戸大学名誉教授、孫文記念館館長
10	11/8 GDP世界2位となった経済大国中国の実態	安室憲一 大阪商業大学総合経営学部教授

内容紹介 コーディネーター 安田啓二 神戸社会人大学 常務理事

2010年、中国はついに日本を追い抜き、GDP世界2位の経済大国となりました。一方、富裕層と貧困層との所得格差は拡大し、各地で暴動やデモが頻発しています。めまぐるしく成長する中国の近代化に焦点を当て、中国が抱える諸問題を、経済、社会、文化、歴史等様々な切り口で10名の講師に解説していただきます。(※この科目は、神戸社会人大学と関西日中関係学会の協力で開催いたします。)

日本農業の再構築を考える

日本の食べ物は大丈夫か？日本を元気にする農業を熟思する

水曜コース

テーマ

担当教員

1	9/7	日本の経済と農業・農村—歴史と今日的状況	保田 茂	兵庫農漁村社会研究所代表 神戸大学 名誉教授
2	9/14	日本の農業と食料の未来	保田 茂	兵庫農漁村社会研究所代表 神戸大学 名誉教授
3	9/21	世界の農業と食料の動向	保田 茂	兵庫農漁村社会研究所代表 神戸大学 名誉教授
4	9/28	日本の食生活の変化と農業	山下陽子 保田 茂	神戸大学大学院博士課程、管理栄養士、元神戸女子大学 教員 兵庫農漁村社会研究所代表 神戸大学 名誉教授
5	10/5	医療費増大と今後の食生活	山下陽子	神戸大学大学院博士課程、管理栄養士、元神戸女子大学 教員
6	10/12	農業と生物多様性	稲葉 一明	兵庫県森林動物研究センター 専門員 NPO コウノトリ市民研究所 主任研究員
7	10/19	環境創造型農業の推進	西村いつき	兵庫県農政環境部環境創造型農業専門員 神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 HC 創成研究センター 研究員
8	10/26	頑張る若者たち	橋本 慎司	丹波市有機農業研究会、 日本有機農業研究会理事、IFOAM アジア理事
9	11/2	頑張る女性グループ	西馬きむ子	ヘルシーママ SUN 代表、 兵庫県生活研究グループ連絡会代表
10	11/9	産消提携の輪を広げる	西村いつき 保田 茂	兵庫県農政環境部環境創造型農業専門員 兵庫農漁村社会研究所代表 神戸大学 名誉教授

内容紹介 コーディネーター 保田 茂 兵庫農漁村社会研究所代表 神戸大学 名誉教授

食料なくして人は一日も暮らせない。食料は農業と漁業からしか生まれない。当然、農業と漁業は国民経済の中にならざるを得ない。高度経済成長を可能にした一要因は、健全な食料が曲がりなりにも自給できたからである。しかし、いつしか食料は安く海外から求めることが合理的とする考え方が定着し、今では先進国の中で最低の自給率に陥ってしまった。さらに、後20年もすれば、日本は世界の中で、最も食料に困窮する国になる可能性すらある。パンと肉と脂の食事が瑞穂の国の農業を壊し、一方で病人を増やし続けている。超高齢社会になり、病気がちの扶養者ばかりが増えるなかで、誰がどこで健全な食料を生産してくれるのであろうか。日本農業の再構築が大きな課題となっている。

美を語る

菩薩にも夜叉にもなる不思議な「美」の世界に寄り添います

金曜コース

テーマ

担当教員

1	9/9	展覧会の舞台裏—海外展始末記	弓場 紀知	京都橘大学教授 兵庫陶芸美術館 副館長
2	9/16	ギリシャ彫刻の美を探る	加藤 哲弘	関西学院大学文学部 教授
3	9/30	八木家の仕事	八木 明	陶芸家 京都造形芸術大学 教授
4	10/7	イスラームの美の世界—その色とかたち	杉村 棟	国立民族学博物館 名誉教授
5	10/14	美術がお目にかかるまで—そのプロセスを紹介	守屋 和明	京都産業大学大学院 講師
6	10/21	中国の紅釉	伊東 徹夫	京都市立芸術大学 教授
7	10/28	美は細部に宿る—唐時代美術の魅力	山中 理	白鶴美術館 学芸課長
8	11/4	丹波焼の美	長谷川 眞	兵庫陶芸美術館 学芸課長
9	11/11	高精細画像で見る文化財	深井 純	写真家 関西学院大学博物館開設準備室
10	11/18	飛鳥美人の周辺—渡来の美意識	猪熊 兼勝	京都橘大学 名誉教授

内容紹介 コーディネーター 弓場 紀知 京都橘大学 教授、兵庫陶芸美術館 副館長

自らの手でものを創り出す人、多様な概念について思索を重ねてきた人、東西文化の交流や異質なものを豊富に有する魅惑の他国文化・美術へ想いを馳せる人、古代日本人の残したものが語りかけて来る幽かな言葉に耳を澄ます人、いろいろなジャンルの美術作品を様々な角度から探求する人、展覧会を広報戦略の立場に基づいて吟味する人等、多彩な10名の講師陣が、時には陶酔の境地に誘い、或いは哀しみを深く湛えた湖沼の如く心に沁み入り、また、突如として、私たちが狂気の世界へと引きずり込む、「美」という魅力的で厄介な存在を念頭に置きながら、それぞれの立場・問題意識の中で長年月に亘って培って来た蘊蓄を傾けて、皆様に語り掛けます。

お申し込み手続きについて

「ひょうご講座 2011」をお申し込みの際は、以下をよくお読みになった上で、所定の手続きをしてください。

申込み方法

<ファクシミリ・郵便の場合>

ご希望の科目を選択し、裏面の「受講申込書」に必要事項を記載してください。

FAX 078-262-5122

郵便 〒 651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2 人と防災未来センター東館 6階
(公財) ひょうご震災記念 21 世紀研究機構 学術交流センター 事業課

<インターネットの場合>

ひょうご講座のホームページに申込みフォームがあります。そこから直接入力が可能です。

ひょうご講座 WEB <http://www.hyogo-al.gr.jp/kouza/>

締め切り

- 各科目とも、開講 1 週間前まで受け付けます。
- 先着順で受け付け、定員になり次第、締め切ります。

受講料のお支払いについて

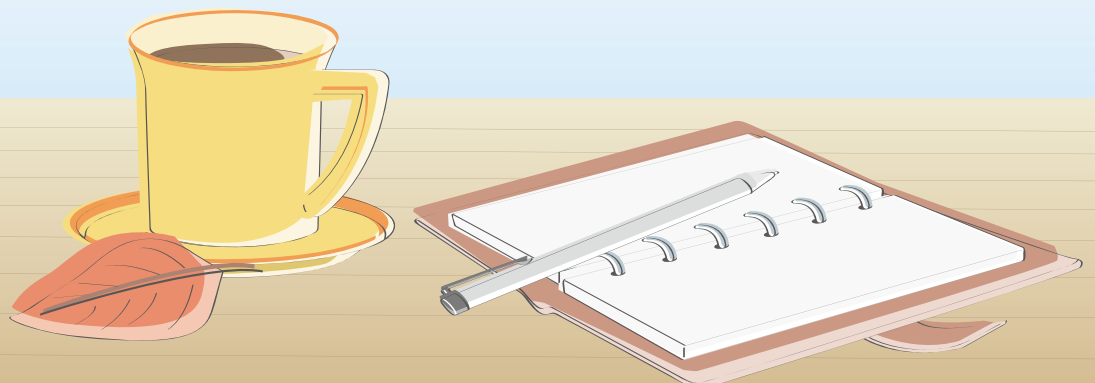
- 申込み受付後、「受講決定書」とともにお送りする、郵便局の「払込取扱票」で、期日までに受講料をお支払いください。現金持参によるお支払いはできませんのでご注意ください。
- 受講料は前払いしていただきます。ご入金後にご連絡は原則いたしません。
- 受講料振込後にキャンセルされる場合は、講座開始 1 週間前までに限り、ご指定の口座に受講料を返金します。(以降のキャンセルについては、受講料の返金はできませんので、予めご了承ください。)
- なお、金融機関所定の振込手数料は、受講者のご負担とさせていただきます。
- 入金をもって、正式なお申し込みとなります。入金確認後「受講者証」を発送いたします。受講日当日は、この「受講者証」をお持ちください。

その他

- 都合により、担当教員・テーマ等を変更する場合がございますので、予めご了承ください。

<お問い合わせ先>

TEL 078-262-5714 (公財) ひょうご震災記念 21 世紀研究機構 学術交流センター 事業課
月曜日から金曜日の 9 時～ 12 時、13 時～ 17 時半 (国民の祝日及び国民の休日を除く)



ひょうご講座 2011 受講申込書

【FAX 送付先：078-262-5122】

(ふりがな)		生年月日	性別
お名前		大正・昭和・平成 年 月 日生 (歳)	男 ・ 女
職 種	1. 会社員 2. 公務員 3. 教員 4. 自営業 5. 家事専業 6. 無職・定年退職 7. その他 ()		
現住所	〒		
電 話	- -	FAX	- -
E-mail	<input type="checkbox"/> 急な連絡先は、Eメールのみでよい (休講等、急を要する際の連絡は、Eメールのみでよい場合、 <input checked="" type="checkbox"/> をお願いします。)		
受講経験	<input type="checkbox"/> 以前にひょうご講座を受講したことがある。 (過去にひょうご講座を受講された方は、 <input checked="" type="checkbox"/> をお願いします。)		

該当する申込欄に、を入れてください。

申 込	科目名	開講日
<input type="checkbox"/>	“ ^{としま} 都市山” 六甲、最新自然情報	9 / 5 (月)
<input type="checkbox"/>	描画や夢を通して知る、私の知らない私、私の無意識の世界	9 / 5 (月)
<input type="checkbox"/>	TPP・貿易の自由化と世界各国の経済	9 / 6 (火)
<input type="checkbox"/>	中国近代化の基本問題	9 / 6 (火)
<input type="checkbox"/>	日本農業の再構築を考える	9 / 7 (水)
<input type="checkbox"/>	美を語る	9 / 9 (金)

参考にご回答ください。この募集要項は、どこで入手されましたか？

- 主催者からのダイレクトメール
- 県・市町の施設 ()
- 生涯学習施設 (例：いなみ野学園)
- 友人の紹介
- 参加したイベントで ()
- その他 ()

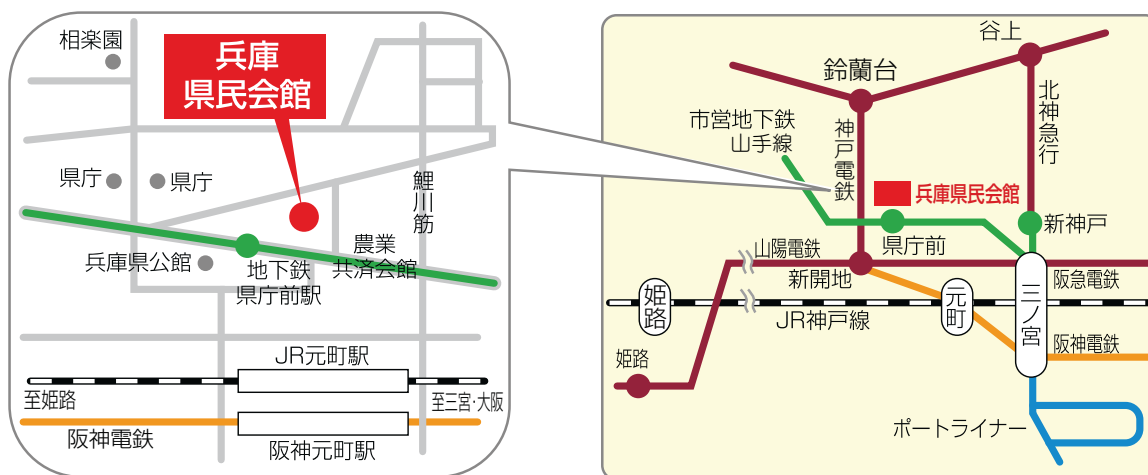
※ご協力ありがとうございました。

※本申込書に記載された個人情報は、本事業の実施等に係るご連絡並びに今後本機構が主催・後援等を行う事業等のご案内のみ使用いたします。

開催場所

兵庫県民会館

兵庫県神戸市中央区下山手通4-16-3 TEL.078-321-2131



- 神戸市営地下鉄・山手線「県庁前」駅下車、東出口1から右へ50m
- JR・阪神「元町」駅下車、北へ徒歩約7分

お申し込み・お問い合わせ先

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構 学術交流センター 事業課

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番2号

人と防災未来センター 東館6階

TEL : 078-262-5714 FAX : 078-262-5122

E-mail : kouza@hyogo-al.gr.jp

webで確認

ひょうご講座

検索

<http://www.hyogo-al.gr.jp/kouza/>